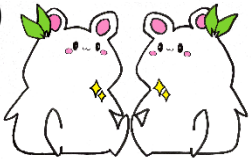
令和５年７月３日

光が丘第二中学校 学校だより



TEL　３９７６－９２０２　FAX ５３８３－３６０８
https：//www.nerima-tky.ed.jp/hikarigaoka2-j/

読書のススメ

校長　　山田　美鈴

「読書は人類が獲得した文化である」と文部科学省ホームページに掲げられています。誰しも１度切りの人生ですが、読書によって何百、何千もの他者の人生を体感でき、しかも時空を超えて過去に存在していた偉人や賢者と、あたかも会話するような体験ができるのです。

どんな状況においても自分の気持ちに向き合い、頭の中で整理するのはすべて言語（思考言語）であり、自分の意思を形づくって他者に表現して伝えるのも言語です。

学習指導要領では、すべての教科指導において「言語活動」の重要性を示しています。そして全教科の評価の観点に「思考・判断・表現」の項目があります。

近年の凄まじい情報化社会の進展は、自ら物事を考えずに断片的な情報をただ受け取るだけの受け身の姿勢になりがちです。SNS の発展により、不必要な情報や誤った情報が錯綜し、自ら判断していく力も弱まっているように思えてなりません。

コロナウイルスの影響がさらにその状況を加担させてしまったと言っても過言ではないでしょう。

このような時代に生きる私たちだからこそ、良書に触れ、豊かな言語を自ら求めていくことで、心を耕していきたいものです。

「読書で養った読解力と表現力は表裏の関係にあり、読解力以上に表現力を高めるものはありません」と作家の佐藤優氏は述べています（「人をつくる読書術」：青春出版）。

本校の学校経営方針の重要項目の一つに「朝読書」を掲げており、今までも折に触れて読書の重要性について説明してきました。朝登校した生徒から自席でゆったりと良書に向き合うことにより、落ち着いた一日を過ごすという効果も期待しています。また「環境が人を育てる」と言われるように、いつでもすぐに良書を手に取ることができるよう、各教室には学級文庫を設けています。そして昼休みの図書室開放や読書活動を推進するための取組を、図書委員会が工夫して行っています。

自分の意見や考えをなかなか他者に伝えることが苦手な生徒も少なくないと思いますが、読書を通じて豊富な言語が日々の取組によって自然と身に付いていくことを願っています。

もうすぐ夏休みとなります。ぜひご家庭でも読書を通して感想を語り合えるような時間をとっていただければと思います。

～　生徒の活躍　～

＊**野球部**　Ｎカップスプリングリーグ　　第２位
＊**３年　男子**　　（家庭配付では生徒名を掲載しています）
　JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会
　Ｕ１７グレコローマンスタイル　４５㎏級　　第２位

＜光が丘春の風小学校長　内木勉先生にご講話いただきました！（６月１２日）＞

６月の全校朝礼に内木勉校長先生が来校され、お話ししていただきました。内木先生は生粋の練馬生まれ練馬育ち！中学校時代にお世話になった先生との出会いが、教師を目指すきっかけとなったそうです。卒業後の進路を考える中学生にとって、たいへん参考になるお話でした。内木校長先生、ありがとうございました。

＜小中合同あいさつ運動（６月７日～９日）＞

６月は「ふれあい月間」です。ふれあい月間の取組の一環として、３日間にわたり光が丘春の風小学校児童と本校生徒が合同で朝のあいさつ運動を行いました。気持ちのいいあいさつで爽やかな一日を迎えることができました。

＜校区別協議会（６月１５日）本校にて＞

本校の授業を光が丘春の風小学校の先生方にも見学していただきました。

授業後は分科会に分かれて、小・中学校それぞれの様子などについて話し合いました。お世話になった小学校の先生方に成長した姿を見ていただくことができました。

＜情報モラル講習会（６月１０日）＞

講師：石徹白　未亜さん（ライター）

２校時目は２年生対象、３校時目は保護者対象に情報モラル講習会を行いました。スマホや PC を扱う際の注意事項から始まり、コミュニケーションツールとして使用するためのモラルを、具体例を挙げながら説明していただきました。当たり前のように SNS を手にする今の時代。興味本位で安易に使用していると、取り返しのつかない事態になる危険性を学ぶことができました。